

1 共通事項について

- (1) 平成 28 年 1 月の状況について、御記入ください。
- (2) Q 5、Q 6 については、平成 26 年度の実績を御記入ください。

2 各質問項目について

※ 各事業所の欄に直接御記入ください。

(Q 1) 管理者の専従・兼務の状況

下記のプルダウンより選択ください。

「専従」「兼務」

他の事業所だけでなく、他の職務との兼務についても「兼務」としてください。

(Q 2) サービス管理責任者の専従・兼務の状況

下記のプルダウンより選択ください。

「専従」「兼務」

他の事業所だけでなく、他の職務との兼務についても「兼務」としてください。

(Q 3) 夜間体制

下記のプルダウンより選択ください。

「夜勤体制」「宿直体制」「連絡体制又は防災体制」「体制なし」

法定労働時間の範囲内で行われる通常業務体制であれば「夜勤体制」を、所轄労働基準監督署長の許可を受けた上で昼間の通常の労働時間に加えて行う体制であれば「宿直体制」を、利用者の呼び出し等に速やかに対応できる体制であれば「連絡体制又は防災体制」を、この 3 つの体制のいずれも整っていない場合は「体制なし」としてください。

「宿直体制」を選択した場合は、(Q 4-1) 宿直手当の支払い方法、(Q 4-2) 宿直手当の具体的な内容を記入ください。

(Q 4-1) 宿直手当の支払い方法

下記のプルダウンより選択ください。

「割増賃金」「1 晩あたり単価」

(Q 4-2) 宿直手当の具体的な内容

割増賃金であれば、割増の程度について記入ください。

例：150/100 でしたら、150 と記入ください。

1 晩あたり単価であれば、一人当たりの金額（円単位）を記入ください。

職員によって、割増賃金の比率や手当の金額が異なる場合は、貴事業所として最も標準的な数字を記入ください。

小数点以下第 1 位を四捨五入し、整数で記入ください。

(Q 5) 入所施設等からグループホームへの地域移行受入れ者数

平成 26 年度における入所施設・精神科病院からグループホームへの地域移行受入れ者数を記入ください。

(Q 6) グループホームから実家や一人暮らし等への移行者数

平成 26 年度におけるグループホームから実家や一人暮らし等への移行者数を記入ください。

入院・入所、死亡等による退所は含めないでください。

(Q7-1) バックアップ体制

基準省令に定める支援体制の確保について、どのように整えていますか。

下記のプルダウンより選択ください。

「体制あり（自法人他事業所）」「体制あり（他法人）」「その他」

「体制あり（自法人他事業所）」「体制あり（他法人）」を選択した場合は、(Q7-2) バックアップ契約を記入ください。

基準省令第212条の2【参考】

指定共同生活援助事業者は、利用者の身体及び精神の状況に応じた必要な支援を行うことができるよう、他の障害福祉サービス事業を行う者その他の関係機関との連携その他の適切な支援体制を確保しなければならない。

(Q7-2) バックアップ契約

バックアップに際して、契約を締結していますか。

下記のプルダウンより選択ください。

「契約あり」「契約なし」

(Q8) 通院支援の状況

グループホーム入居者に対する通院支援のうち、通院等介助（ホームヘルプ）の対象ではなく、世話人が行うもの（通院等介助外の通院支援）について、平成28年1月の状況について教えてください。

(Q8-1) 通院等介助外の通院支援についての、実利用人数を記入ください。

(Q8-2) 通院等介助外の通院支援についての、延べ利用人数を記入ください。

(Q8-3) 通院等介助外の通院支援についての、総時間数を記入ください。

例：Aさんは、定期的な利用として、毎週火曜（1月は4回）に2時間、月に3回（うち2回は通院介助対象）各3時間、突発的に1回5時間の利用。Bさんは、突発的に1回3時間の利用と1回2時間の利用があった場合

実利用人数は、AさんとBさんの「2人」

延べ利用人数は、Aさんが6回、Bさんが2回で、計8回で、「8人」

総時間数は、Aさんが、（2時間×4回）＋（3時間×1回）＋（5時間×1回）＝16時間で、

Bさんが、（3時間×1回）＋（2時間×1回）＝5時間で、「計21時間」

ご協力ありがとうございました。